

総合科学の基礎C
哲学思想の基礎

2018/04/20

そもそも「哲学」とは②

マークシートの記入要領

10ケタの学生番号を記入

名前

今日の日付

哲学

No	名前										月 日																												
年	クラス	番号	D		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	U	V	W		
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

10ケタの学生番号を鉛筆でマーク

小テストなどに
使います。

ここに注意！

前回の要点

- 哲学Philosophyの語源は、「知識愛好」というギリシア語。
- 「知識」としては、およそすべての学問領域。
- 知識は普遍を目指す。
- 今日の予定
 - コメントを取りあげて、論理的文章の書き方を説明。
 - 新たな概念として、哲学における神、TrueとRight、Knowledgeとbeliefなどを取りあげる。

学生のコメント

- 「思う」「考える」「感じる」「印象を持った」
 - 理由を書くようにしましょう。
 - 「私はプラトンの哲人政治に賛成する。人類**平等**は**大切**だが、**知恵ある**リーダーが**国**を引っ張ることが国民を**幸福**に導くと**考える**。」
 - 青字で書いた概念を具体的にはどのように理解していますか？
 - たとえば「平等」と一言で言っても、結果の平等・機会の平等・可能性の平等など、さまざまな議論がある。

なぜ質問するのか

- 哲学は人生においてどんな役に立ちますか？
- アリストテレスはクジラは哺乳類だと言っていたというが、なぜアリストテレスは海についての知識を知る必要があったのか？
 - 授業との関連で、なぜその質問をするのか(質問の必然性)を説明するようにしてください。
 - たとえば、「アリストテレスは哲学者なのに、なぜ～」という問いなら、どう答えたらよいかわかる。
 - 「なぜ」という問いには、さまざまな答え方がある。
 - 目的・動力・材料・形相(本質):(アリストテレスの「四原因説」)

哲学の神

授業では私の「考え」ではなく、哲学史上の事実を扱います。

- 自然科学的に見て、神は存在しない。
- 学問的な神について先生はどう考えますか。
 - 「プラトン・アリストテレス・キリスト教」が西洋思想の三本柱。
 - 中世哲学は、キリスト教とアリストテレスの諸学問を整合させるために行われた。
 - アリストテレスの神：第一原因。不動の動者。善美。
 - キリスト教の神：創造神。全知全能・無限。善美。
 - 近代科学は、神の創造の意図に迫りたいという動機で成立した。

哲学と人生観

- 哲学を辞書を引いてみると、「人生・世界、事物の根源のあり方・原理を、理性によって求めようとする学問。また、経験から作り上げた人生観」とあった。
 - 哲学について「人生観・価値観」などの意味が広まったのは1970年代ごろ。
 - 出典：遠藤智雄「「哲学」の訳語考」、『英学史研究』第26号、1993年

哲学と科学

基本的に歴史的な問題
ですから、頭の中で考え
ても答えは出ません。

- もともと哲学とは自然科学とい
19世紀以降、自然科学とい
言葉が使われるよ
うになったという。なぜそのように分かれたのか
疑問に思った。
 - 前回、口頭で言いましたが、19世紀には近代的な大
学が設立され、学部・学科でそれぞれの専門分野が
教えられるようになった。
 - それに伴って、「大学教員＝科学者」という職業（プロ
フェッション）が成立。
 - 学問も、「**分科した学問**」へと変質していった。
 - 大学の歴史については、山口裕之『「大学改革」とい
う病』を参照。

正しさは人それぞれ

- 「万物の根源は水」と考えたタレス、「万物流転」と考えたヘラクレイトスなど、正しさはそれぞれの人によって異なるので決められない。
- 自分の中ではOKであっても他者からしたらNG、などの善悪、正義非正義などの価値観はやっぱり人それぞれではないか。
- 国が違くと法律が違い、日本では許されていることが禁止されている国もある。
- たしかに、「赤信号は止まれ」など、世界中で同じ規則が定められている。
- 「正しさは普遍的」という考えを聞いた。だとすると、みんなが同じことを正しいと**認識**するはずだ。しかし現実には、戦争であれば人を殺すことが正しいと思っている人がいるように、正しさは異なっているのではないか。

「正しさ」といってもさまざま。

- True: 真理。
 - 自然科学における「正しさ」= 言葉と物の一致
 - 猫そっくりの犬 → 猫だと思ふ ≠ 犬が猫になる
 - タレスやヘラクレイトスはともかく、現代物理学は「万物の根源」を素粒子やビッグバンで説明する。
- Right: 正当・公正
 - 倫理学における「正しさ」。
 - 個人的な「道徳感情」と混同されやすい。
 - 信号の赤のように、道徳的には赤でも青でもよいが、規約によって決められたルールもある。

価値観はやっぱり人それぞれ？

- 個人的な道徳感情や価値観と社会的な規範とは異なる。
 - 個人が「盗みOK、殺人OK」と思っても、通用しない。
 - 道徳的な正しさは、**社会的な規範**（社会において共有された価値観）。
 - 多くの個人は社会的な規範を内面化するので、個人の価値観もそれほど違わない。（全く同じではないが）
 - 「好み」は人それぞれで構わないが、「価値観が人それぞれ」なら社会が成り立たない。

国が違くと法律が違う？

- 「価値観や規範は社会や時代によって異なる」というわけでもない。
 - 国が違っても、「禁止されていること」はおおむね同じ。
 - 「人を尊重すべし」という原理はどこでも同じ。
 - 法律で禁止されていないなくても、日本で「好ましくない」と思われていることは、たいていの国でもそう思われている。
 - 信号の色や右側通行/左側通行など、道徳的にどちらでもよいが、国内で統一することに意味がある場合もある。
- 価値も、普遍が志向される。
 - 社会全体が過つ場合もある。
 - 詳しくは山口裕之『人をつなぐ対話の技術』を参照。

今日の宿題

- 授業へのコメントをmanabaで送信。
- 締め切りは火曜日の17時。(総合科学入門の宿題の次の日)。
- 授業のまとめ、意見・質問、それらの根拠と理由、質問の場合は自分なりの回答とその根拠。
- 次回も、配布資料を自分で印刷するのを忘れないように。